

## 京都精華大学 教育後援会 2023年度 第1回役員会議事録

開催日時：2023年5月20日（土）11時～12時20分

開催場所：対面・オンライン

出席役員：

（会長）塩路 有紀、（副会長）井上 孝晴、（監事）篠崎 聡（オンライン）、（以下、学部幹事）  
夏目 友加、溝井 浩、久保園 順子、椋木 千鶴子、兒玉 修一、松本 高志  
※兒玉氏、松本氏は新任

本学参加者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（副学長）吉岡 恵美子（オンライン）、（副学長）蘆田 裕史、  
（教務部長）斎藤 光、（学生部長）三河 かおり、（教学グループ長）片田 克、（学生グループ長）山  
元 英昌、（経営企画グループ長）舟津 潤

記録：（経営企画グループ）橋下 昂平、猪川 綾子

### 議事事項

1. 京都精華大学 概要・2023年度概況
2. 2023年度教育後援会について
3. 2022年度事業報告および決算
4. 2023年度事業計画および予算
5. 教育後援会会則の改定について
6. その他

### 今回の決定事項

- ・2023年度の教育後援会の主な活動内容、役員について承認された。
- ・2022年度の事業報告および決算について、事業報告、決算、寄付事業実績報告が承認された。
- ・2023年度の事業計画および予算について、事業計画案、予算案、寄付事業案が承認された。

### 議事事項

#### 1. 京都精華大学 概要・2023年度概況

事務局から、(1)建学の精神、(2)学校法人の沿革、設置する大学・学部・学科等、(3)教職員数、組織、学生数について説明があった。

#### 2. 2023年度教育後援会について

事務局から、(1)教育後援会の諸活動、(2)教育後援会会則 弔慰取扱細則、(3)役員について説明があった。各議案について、承認された。

以降の議事については、2023年度 教育後援会会長に選出された塩路会長に進行が移管された。

#### 3. 2022年度事業報告および決算

事務局から、(1)2022年度事業報告、(2)2022年度決算、(3)2022年度寄付事業 実績報告について説明があった。各議案について、承認された。

#### 4. 2023 年度事業計画および予算

(1) 2023 年度事業計画、(2) 2023 年度予算 (案)、(3) 2023 年度寄付事業 (案) について、事務局から説明があった。(3) の②キャリア支援活動への賛助については事務局からの説明に加え蘆田副学長からも補足説明があった。役員からの意見・質問は以下の通り。

・キャリア支援パーク (仮称、以下キャリア支援パーク) の学生への周知はどのようにするのか質問があった。蘆田副学長から、10 月からの開設に向けセイカポータルでのメール配信または学内掲示から情報発信を予定と回答があった。加えて澤田学長から、すでに移転が完了しているキャリア支援チームの事務所付近で様子を見てみると、通りがかった人は気にはするものの何をする場所なのかまだ分からない学生が多いように感じている。看板などを設置して周知を図りたいと説明があった。

・キャリア支援パークの利用は 3 年生以上から利用できるのかと質問があった。三河学生部長から、1 年生から利用が可能。全学年全学部に対してオープンに開放と回答があった。

・キャリア支援パークは保護者も利用が可能なのかと質問があった。三河学生部長から、オープンキャンパスや懇談会などで合わせてイベントを開催できないか検討中と回答があった。

・2022 年度決算 2023 年度予算で一人当たり 40,000 円の会費で計算されているが会則には年額 10,000 円と書かれている。ということなのかと質問があった。事務局から年額は 10,000 円であるが、初年度に 4 年分を一括して納入いただいていると説明。ということであれば現在の会則ではその実態が述べられておらず、さらに議事 5 で提案されている新会則も対象の期間中にどれくらいの金額が発生するものなのか非常に分かりづらいものになっていると指摘があった。そのほか、他大学では年に 1 度の計 4 回を会費の納入と設定しているという事例紹介や、今まで 4 年分を一括納入していた背景などが対象者に対して分かりやすく説明ができるようにするべきとの意見が続いた。4 年分を一括納入であれば退学者の会費の取り扱いについても会則に盛り込むべきということも提案された。以上を踏まえ、この時点で議事 5 に対しては議事の取り下げを行い、事務局内で再度調整を行うこと方向性が確認された。

・スクールバスが装飾のない無地の仕様となっている。仮にも芸術学部等の学部を有するこの大学で何かできないのか。例えば学生にコンテストを開き、採用された学生の絵をバスに描くなど。と質問があった。片田教学グループ長から、昨年度まで総務グループ長であった際、学長からも同様の提案を受けたことがあり、異動時に引き継いだ。予算や、装飾を施す際にどのようなものとするのかと検討しないといけないことは多岐にわたる。議論を重ねながら検討を続けていると回答があった。

・定員充足についてだが、国際文化学部グローバルスタディーズ学科の充足率が低くなっている。コロナの影響もあるかと思うが、改善のめどは立っているのかと質問があった。事務局から、教学的な改革にも着手している、と報告があった。澤田学長から補足として、定員充足を一番深刻な課題ととらえている。様々な教学改革を実施予定で、各種との調整を行っている。と説明があった。

以上の説明・審議を踏まえ、2023 年度事業計画案および予算案について承認され、次回総会にて審議されることとなった。

#### 5. 教育後援会会則の改定について

議事 4 での指摘事項もあり、本議事は取り下げとなった。

塩路会長から、全議事の終了が宣告された。